

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270301286		
法人名	社会福祉法人秋葉会		
事業所名	グループホーム桔梗野の家		
所在地 (電話番号)	〒039-2241 青森県八戸市市川町字桔梗野15-7 (電話) 0178-21-3561		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月5日	評価確定日	平成21年11月30日

【情報提供票より】(平成21年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ銅版葺造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,375 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬期7,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 900 円			

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.5 歳	最低	76 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	菅原内科医院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に位置し、誰でも気軽に立ち寄る事ができ、自然な雰囲気を作り出している。地域と事業所がお互いに支えあいながらいることが、利用者が穏やかに過ごしている事がかえり、地域全体が利用者を見守っているため、外出等もお互いが安心してできる環境になっている。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での改善課題なし。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員に評価の意義や目的を伝え、自己評価は全員で取り組んでいる。評価の結果もミーティングや運営会議で報告等を行い、今後の改善に向けて活かしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、行事や防災訓練等の必要と思われる内容について報告し、話し合いが行われ、サービスの向上へ繋げている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族との連絡は定期的に行い、面会時や家族参加の行事等では、気軽に話せるような雰囲気作り心掛け、意見や要望等を聞くように対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常的に散歩や買い物に出かけ、近隣の人たちと挨拶をかわしている。町内会の会合にも積極的に参加し、近所からも相談を受けたりしている。また、近所の住民からは野菜やお花を頂いたりしている。地域の祭りや盆踊りに参加し、災害時には地区の一次避難場所にもなっているなど地域との連携がとれている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、住み慣れた地域で安心した暮らしと地域生活の継続支援をふまえて理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には必ず理念を伝えている。また、ミーティングや申し送りなどで確認しあう体制があり、職員全員が取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩や買い物に出かけ、近隣の人たちと挨拶をかわしている。町内会の会合にも積極的に参加し、近所の方からも相談を受けたりしている。また、近所の住民からは野菜やお花を頂いたり、地域の祭りや盆踊りにも参加している。災害時には地区の一次避難場所にもなっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員に評価の意義や目的を伝え、自己評価は全員で取り組んでいる。評価の結果もミーティングや運営会議で報告等を行い、今後の改善に向けて活かしている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、行事や防災訓練等の必要と思われる内容について報告や話し合いが行われている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	年1回行われる市のグループホーム協議会主催の意見交換会に参加し、現場の実情や助言、指導をもらっている。運営についても、問題解決が困難な場合は電話で確認したり、相談へ出向いたりしている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護を利用している利用者はいないが、機会あるごとに職員へ説明を行い、研修会にも参加している。事業所では社会福祉士による講義を開催しており、必要な場合に活用できる体制である。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会やミーティングでお互いに、理解や遵守に向け注意し、取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に利用する本人や家族に見学をしてもらい、契約時等は丁寧に説明を行っている。疑問や不安があるときは、その都度詳しく説明し納得をして頂いている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3ヵ月に1回、おたよりと介護計画の評価や毎月の金銭受払表などを送付し、面会時には心身の状況について報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や家族参加の行事等で、気軽に話せるような雰囲気作りに心掛け、意見や要望等を聞くようにし、運営に反映させている。今年からは第三者評価委員も活用している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者、家族への信頼関係を築くためにも、馴染みの職員が対応することが重要と考えている。しかし、やむを得ない異動や離職がある場合は、その時期や引き継ぎに最善を尽くしている。新しい職員が入った場合は、利用者きちんと紹介等を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修には可能な限り受講できるよう配慮しており、研修報告書は職員全員に伝達し、閲覧できるようにしている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のグループホーム協議会の交換研修や講演等に参加したりして、サービスの向上を目指している。法人内の会議や勉強会にも積極的に参加し、職員間での交流も行われている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族に見学をしてもらい安心感を持ってもらうことはもちろん、本人の関係者にも来所してもらっている。家族等に環境の変化に馴染むまでの経過を理解してもらい、面会や外出の協力をお願いしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者は人生の先輩であるという考えを職員が理解し共有している。利用者から教えてもらう場面が多く、そういった場面になるよう工夫や声かけが行われている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中での会話から、把握に努めている。意思疎通が困難な利用者には、家族や関係者から情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族から思いや意見を聞き取り、介護計画に反映させるよう全職員で意見交換し、カンファレンスを行っている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画を定期的に見直し、状態に変化があった際は、再度検討、見直しを行っている。随時モニタリングが行われており、状態変化を把握できる取り組みが積極的に行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制を活かし、本人への負担も考えられる受診などの移送サービス支援も柔軟に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっており、受診や通院は希望に応じて対応がされている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴う最大のケアについて説明が行われ、可能な限り本人や家族の意向に添えるよう、医師との話し合いが行われ、今後の対応や希望を関係者全員で共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で、利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、直接目に入らないように掲示等を気をつけるなどの対応が徹底されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物やドライブ、散歩等一人ひとりの思いや状態に配慮しながら支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事をされている。準備や後片付けも利用者と一緒にしている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のその日の希望を確認し、入浴を希望に添えるよう時間等に幅をもたせ配慮されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事準備、後片付け、花植え、読書、散歩、見回り、会議への参加等、利用者の経験や得意とすることが発揮できる場面づくりを支援している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、季節感を感じてもらうためにドライブ等に出かけている。外出後はホーム内に外出時の写真を掲示している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束の弊害についての認識を持ち、ミーティング、申し送り時等で身体拘束が行われていないか点検をしている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず、利用者が外出しそうなときには、一緒に出かけたり、安全に配慮しながら自由な暮らしを支援している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町内会長さんや近隣の方に協力を依頼し、防災訓練を年2回行っている。実際の地震発生時は地域の人たちが真っ先に駆けつけてくれ、普段の働きかけの成果がうかがえる。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の摂取状況を確認し、職員全員で把握している。定期的に栄養士による献立チェックを行いアドバイスを受け、健康面について配慮されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し予防対策に努め、インフルエンザ等の予防接種を利用者、職員ともに実施している。ペーパータオルを使用するなどの対策も行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用スペースのホールには食事の準備の音や匂いがあり、障子をあげると季節感が感じられるよう草花が植えられている。共用場所には季節の花を飾るなどの配慮もされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>机やこたつ、写真など馴染みの物を用意し、居心地よく生活が出来るように配慮されている。</p>		

 は、重点項目。